
10月17日（土） 9:00～16:00

【テーマ】 林業

【タイトル】

自伐型林業～自伐型林業～環境保全と経済性の両立～

【概要／狙い】

日本の国土の7割を森林が占めています。

「地域創生」に取り組むならば、林業の再興、国産材の有効利用にこそ力を入れるべきです。

「大規模・大量生産・集約・高投資・高コスト・委託/請負」型の林業が国策「森林・林業再生プラン」とされている一方で、土佐の森・救援隊は「小規模・少量多品目生産・分散・低投資・低コスト・自立」型の自伐林業を核とした『土佐の森方式』を確立し、地域に根ざした仕組みを展開しています。

参照：[森林再生の方途中嶋健造さん](#)

大規模林業一辺倒では森林破壊や市場破壊が多発していますが、地域に根ざした自伐型林業『土佐の森方式』は、木質バイオマス利用のための林地残材収集や、地域林業再生、地域雇用、地域経済活性化、森林環境再生に大きく貢献し、林業市場を大きく拡大することも分かってきました。自伐型林業は森林再生や地域振興に大きく貢献します。

この情報が全国に伝播し、導入地域はすでに40以上で、気候危機時代に突入した今災害防止策としての評価もありさらに勢いを増しています。

牽引役の中嶋健造さんから日本の林業の問題点、自伐型林業の概要について学び、自伐型林業を実践している施業山林（埼玉県飯能市）の見学も行います。

【場所】

埼玉県飯能市

【講師】

中嶋 健造 / 自伐型林業推進協会 理事長

【課題図書】

『小さい林業で稼ぐコツ: 軽トラとチェーンソーがあればできる』

編集: 農文協, 農山漁村文化協会 (農山漁村文化協会)

【参考図書】

『New自伐型林業のすすめ』

著者: 中嶋健造 (全国林業改良普及協会)

【参考写真】

